

時間割コード	G2B60607	開講年度	2026				
授業題目	スポーツフィッシング					担当教員	杉本 光公
英文授業名	Sports Fishing						
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	全
講義室				授業形態	実技	遠隔授業科目	
備考	【地域】						
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学D P						
	持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力					⇔	・生涯スポーツとして実施可能な溪流釣りの知識・手段を修得するためのきっかけを作る。
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	学内実習 1 日と 2 泊 3 日の集中授業で行い、溪流つりの実践方法を学ぶとともに、グループにより自然との協調性をどのようにしたら育むことができるかディスカッションと発表を行い、環境への意識を高める。場所：乗鞍高原						
(5)授業のキーワード	釣り						
(6)授業計画	1 日目 (8/18) 学内実習 13時から 第2体育館 内容 仕掛けの作り方、竿の扱い エサ釣りの基本 2 日目 (8/24) 午前 溪流釣りの基礎 午後 溪流釣りの応用 3 日目 (8/25) 午前 溪流ツアー 午後 溪流ツアー 夜 グループワーク 4 日目 (8/26) 午前 ソロ活動 午後 まとめ(授業アンケート)						
(7)成績評価の方法	安全に釣りを行なって、川の自然を楽しめているかを実技テストで評価する 5 0 点 適切な仕掛けを作り、川にあった釣り方ができるようになっているかを実技テストで評価する 2 0 点 川でのポイントを見つけられるか実技テストで評価する 2 0 点 最終レポートによって、上記知識の定着を評価する 1 0 点						
(8)成績評価の基準	河川のなかで、適切な道具をもちい、安全に釣りをおこなえ、信州の自然を体感することができ、最終レポートを提出すれば、可とする。 さらに、釣れるポイントがある程度分かり、重りや流し方、ラインの選択などが出来るようになれば良とする。 さらに、川の特徴を理解し、どのような川でも安全に釣行できるようになれば、優とする。 さらに、釣りを生涯の趣味として取り組めるようになった場合は、秀とする。						
(9)事前事後学習の内容	仕掛けの選定と購入を事前学習とし、最終レポートを事後学習とする。 ※この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	・受講希望者は、事前にエントリーを行ってください。 ※eALPS上に掲載するオンラインガイドンスを事前に確認してください。 ・経費は自己負担で、4 万3千円です。遊漁券（いわゆる釣り券）代は別途現地で徴収します（最大3千円）。 ・4 月15日（水）12:15～12:30（32番講義室）にてガイドンスをおこなって、前金2万円を集めます。 ※昼食持ち込み可						
(11)質問,相談への対応	メールにて対応 sugi_26@shinshu-u.ac.jp						
(12)授業への出席	履修する全ての回に出席することを基本とします						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	補講で対応する						
【教科書】	特に指定しません。						
【参考書】	特に指定しません。						